

対象クラス	1年 生活文化科	単位数	2
使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)		
使用副教材	なし		

「ファッション造形基礎」はこんな科目です。

被服の構成を理解し、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得し、ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる科目です。

科目の到達目標 (目標とする検定等)

- ・被服構成の基礎、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得し、ファッション造形の基礎的な能力と態度を身に付けることを目指しています。
- ・全国高等学校家庭科技術検定被服製作3・4級程度の作品製作を通して、被服製作技術の定着を図ります。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	・被服製作に興味を持ち、意欲的に学習しようとしているか。 ・作品を製作するにあたり、意欲的に工夫・創造しようとしているか。	授業態度 提出物の提出状況 製作の取組状況
思考・判断・表現	・習得した基礎的な知識と技術を効果的に利用するための方法を検討し、決定していく力を身に付けているか。	定期考査 製作物 実習・実技の応用状況
技 能	・技術検定3・4級程度の基礎基本技術が習得できており、他の作品に応用できる力を身に付けているか。	定期考査 (実技テスト) 製作物
知 識 ・ 理 解	・被服の構成や技法・材料などの基本的な知識を理解しているか。 ・人体と被服の関わり、人体を覆う被服の形、動作に適応した被服のゆるみについて理解しているか。	定期考査 学習プリント ファイル ノート

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第3章 洋服の製作  【前期中間考査】	・オリエンテーション 基礎縫い (手縫い・ミシン縫い) 第1節 製作の基礎 ・布地、糸、針の種類と特徴 ・適切な縫い目、基本の縫い方 基礎縫いを利用したきんちゃく袋の製作	・被服製作を学ぶ目的を理解する。  ・被服製作に必要な用具、材料について理解する。 ・被服製作の基本になる縫い方 (手縫い、ミシン縫い、ボタン付け) を確実に身に付ける。  ・習得した知識と技術を確認する。
前期期末	第1章 衣服の構成 第2章 衣服の素材 第3章 洋服の製作  【前期期末考査】	きんちゃく袋の装飾 ・人体と被服 ・立体構成 ショートパンツの製作 ①練習 ・型紙作り・裁断、印付け ・縫い代の始末・ポケット付け	・習得した技術を生かして、装飾を加えて袋を仕上げる。 ・ショートパンツの構成を理解する。 ・用途に合わせた材料選びができる。 ・布地の方向、縫い代の分量に気を付け、無駄のない型紙の置き方を理解する。 ・チャコペーパーを使った印付けの方法、注意点を知る。
後期中間	  【後期中間考査】	・本縫い ・仕上げ ②ショートパンツ ・裁断、印付け ・縫い代の始末・ポケット付け ・本縫い ・仕上げ	・ロックミシンの使い方をを知る。 ・丈夫なポケット付けの方法を知る。 ・効率のよい作業手順と適切な縫製技術を身に付ける。
後期期末	第3章 洋服の製作  【学年末考査】	洋服 (カジュアルシャツ) の製作 ・型紙作り ・裁断、印付け ・縫い代の始末・ポケット付け ・本縫い ・仕上げ ・1年間の振り返り	・シャツの構成を理解する。 ・習得した知識・技術を活用し、日常着の縫製技術をより確実に身に付ける。